

平成23年11月8日

地域住民の皆様へ

国立大学法人 宮崎大学

遺伝子組換えワタ開放系栽培研究圃場試験における2年目の中間報告会開催について

国立大学法人宮崎大学は、遺伝子組換え植物における生物多様性への影響等の評価システムを構築し、その評価を行っています。今回対象とする遺伝子組換えワタ2品種「除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ GHB119」、並びに「除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性ワタ T304-40」は、バイエル社が開発し、日本への綿実等の輸入承認申請を目指すものであり、客観的な評価を受けるために本学に共同研究を提案したものであります。これら遺伝子組換えワタの開放系栽培研究圃場試験は、農林水産省及び環境省の大臣承認を受け、学内の第1種遺伝子組換え安全委員会の審議を経て学長承認を得た後、平成22年度に1年目の試験栽培を行いました。その後、平成23年6月8日に1年目の結果報告並びに2年目の栽培計画説明会を行い、再び学長承認を得た後、6月24日より2年目の栽培を開始いたしました。つきましては、下記のとおり、本試験に関する2年目の中間報告会および開放系栽培研究圃場の見学を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

参加希望の方は、事前に下記問い合わせ先にお申し込み下さい。なお、その他の栽培研究に関するお問い合わせ等は、随時行っておりますので、ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせ下さい。

記

【2年目の中間報告会】

日時： 平成23年11月24日（木） 15：00～17：00

会場： 宮崎大学国際連携センター1階・講義室（木花キャンパス）

申込み受付：下記問い合わせ先、またはインターネットからの受付も可能です。

以上

- 問い合わせ先：
宮崎大学研究国際部研究推進課
TEL0985-58-7112 FAX0985-58-2896
- インターネットからの申し込み：
<http://isofield.brc.miyazaki-u.ac.jp/>

住民説明会会場案内図

＜宮崎大学木花キャンパス＞
国際連携センター

